

MyStars 通信

No.37

June 2013

マイスターズ登録者の皆様いかがお過ごしでしょうか。『MyStars通信』37号ができましたのでお送りします。2013年4月末現在の登録者数は9123名です。パンスタース彗星が話題になっていましたが、見ましたか。



アンドロメダ銀河(M31)に接近するパンスタース彗星

太陽に接近し明るくなると噂されていた彗星です。どれほど明るくなるのか、どれほど長い尾が見えるのか、想像が膨らんで空を眺めた人も多かったのではないのでしょうか。しかし、予想に反してあまり明るくならず、しかも春霞に黄砂も加わり低空は透明度が悪く、肉眼ではよくわからなかったというのが正直なところです。まっ、彗星は『大騒ぎするほど暗くなる』とも言われますから、こんなものでしょう。

4月にはいると明け方の空で見やすくなり（と言っても肉眼では見えない）、4月5日前後にはアンドロメダ銀河に近づき、20日前後にはカシオペヤ座の中を通過していきました。

現在のMyStars登録者数はアンドロメダ座496件、カシオペヤ座324件で、この二人は母娘関係です。

綺羅星・星座ガイド

○いて座



いて座は黄道12星座（誕生日星座）の中で一番南にある星座です。誕生日星座（11/23～12/21）から冬のイメージですが、夏の星座です。いて座には冬至の太陽が通過する冬至点があります。

いて座は半人半獣のケンタウロス族の一人で、星座絵では弓をひきさそりを狙う姿になっていますが、いて座とさそり座の間に特別

な関係はありません。

いて座の中心部に6個の星がつくる『ひしゃく』があります。ひしゃくと言えは北斗七星が思い出されますが、こちらは『南斗六星』と呼ばれています。中国では「北斗は『死』をつかさどる星、南斗は『生』をつかさどる星」と伝えられています。いて座の中心部にある星の結び方変えると、右図のようになり、ティーポットと呼ばれています。



いて座は天の川銀河の中心方向にあるため、このあたりの天の川は明るく幅広く、数多くの星雲や星団があります。望遠鏡で詳しく見えますが、双眼鏡でじっくり見ると、あちらこちらに星の群れや小さな雲の切れ端のような星雲が見られます。肉眼でもわかりますが、天の川の中は一様な明るさではなく濃淡があります。これは星が不均等にあることと、光を発しないチリやガスの存在が、背後の星の光を遮断するため暗くなっているのです。双眼鏡で見たら今度は望遠鏡で見てみましょう。M8(干潟星雲)は見かけの大きさが月より大きいので、倍率は低めの方が見やすいです。M22は球状星団としては大きいので、小型の望遠鏡でもブツブツザラザラした感じに見えます。



○ヘルクレス座



ギリシャ神話のヘルクレスは怪力の持ち主で、まだ赤ちゃんだったころ、恐ろしい毒ヘビをその小さな手で絞め殺してしまったほどです。後に結婚し、子どもも生まれ幸せに暮らしていたとき、嫉妬深い女神ヘーラの呪いにより家族を殺してしまいました。その罪を償うために危険な12の冒険をすることになり、すべて成し遂げました。

ヘルクレス座は夏の星座のひとつで、こと座とかんむり座の間にあります。星座はヘルクレスが逆さまになった姿で描かれています。線で結んだヘルクレス座を『カエルみたい』という人が多いように思います。確かにカエルに見えますね。

ヘルクレス座には太陽向点があります。この宇宙にあるすべての星は宇宙空間を移動していて、太陽系も毎秒約19kmという速度で移動し、その向かう先がヘルクレスの左手方向（こと座の近く）にあるのです。



ヘルクレス座で一番明るい星は、頭にあるラスアルゲティという変光星で、約100日の周期で3.0等から4.0等まで明るさが変わります。この星は、星自身が膨張収縮を繰り返し不安定になっている、そろそろ寿命が終わりに近づいた星なのです。この星を望遠鏡で見るとすぐそばに5.4等星が並んでいます。80倍くらいで見ると赤い星のそばに黄色の星がぴったりと寄り添うように見えるでしょう。ヘルクレス座で注目したいのは球状星団M13でしょう。星が丸く団子のように集まった星の集団で、小型の望遠鏡では丸くぼやけた姿が見られます。大きな望遠鏡で見ると細かな星がぎっしりとあるのがわかります。この中には太陽の100倍以上もある巨大な星が、約100万個もあるといわれています。太陽の100倍というと1個1個の星が大きく見えそうですが、距離が約2万3000光年と言う遠くのため、世界最大の望遠鏡をもってしても光の点にしか見えません。ヘルクレス座の北にもう一つM92と言う球状星団があります。こちらはちょっと小ぶりですが、M13より集中度が高いので中心部が明るく見えます。ついでがあったらNGC6210という星雲も見てみましょう。これは寿命を終えた星の残骸で、四角い形で青白く輝きます。小さな星雲なので大きめの望遠鏡で見ると、鈍く輝く宝石のように見えます

○ペガサス座



ペガサス座は翼の生えた天馬ペガサスですが、星座絵では上半身しか描かれていません。なぜこのようになったかと言うと、全身を描くととても大きくなりすぎると言うことで、下半身は省略されたのです（おうし座も半分しかない）。

春、夏、冬には『○○の大三角』があるのに秋だけありません。

は1等星がたくさんあって目立つのですが、秋の星座には1個しかなくパツとしないのです。それで4個の2等星がつくる四辺形を『秋の四辺形』として秋の目印にしているのです。このちょっとゆがんだ四辺形は、辺や対角線を延ばすといろいろな星を見つけることができるので、空のものさしとして使われます。なお、4個のうち左上のアルフェラッツはとなりのアンドロメダ座の星です。

ペガサス座には特に注目値する星はありませんが、四辺形の西にある5.5等星の51番星は、1995年に太陽系外惑星の第一号が発見された星として有名です。この惑星は木星のようなガス惑星で、51番星のすぐそばをわずか4.2日で回っているため、温度が1000度にもなる熱く煮えたぎった惑星です。生物は棲めそうもありません。



ペガサス座のお勧めはエニフの近くあるM15でしょう。ヘルクレス座のM13と同様の球状星団で、距離が3万4000光年と遠いのでやや小ぶりですが、集中度は高く中心部は明るく輝きます。小型の望遠鏡ではピンボケの星のようですが、大きめの望遠鏡では細かな星がぎっしり見えます。もう一つ、ちょっと暗いので大きめの望遠鏡が必要ですが、シェアトの北西にNGC7331と言う渦巻き星雲（銀河）があります。銀河を斜めから見る姿で細長い楕円形に見えます。このすぐ南に5個の銀河が集まった『ステファンの五つ子』と呼ばれる集団がありますが、こちらは暗いので見るのは難しいでしょう。

綺羅星列伝

今回は3遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : MIYU LOVE K&Y

私達の最愛の娘『心結^{みゆ}』が神様のもとに行き、本当のお星様になってから、ずっと、心結は私達のそばで、空から見守ってくれているんだと考えていました。そんな矢先星に名前を付けることができる、永遠に登録してもらえるとという記事を見つけ、これはぜひ、心結の名前を。いつも見守ってくれていてもやはり何かの形が欲しいとも思っていたので、出会いを感じ申し込ませて頂きました。

心結は本当にがんばり屋でやさしい子。私達の宝物でした。

2年間という短い時間でしたが、本当に精一杯生きたし、かけがえのない時間を過ごすことができたと思っています。

本当はずっと一緒に時を過ごしていきたかったけど……。一緒にいろんなことをやりたかったけど……。

でも、心結はすごく頑張ってくれました。私達をたくさん幸せにしてくれました。最後にきちんと私達にお別れのあいさつもして……。とってもキレイな夕日の中旅だった心結。本当に本当に大好きよ。愛してる！

これからは心結の加護のもと、私達が天命を全うし、心結の所に行った時「パパ、ママ、よく頑張ったね。」と言ってもらえるように、楽しい思い出話がいっぱいできるように、負けないよう頑張ります。

負けそうになった時は、心結の星『MIYU LOVE K&Y』を見上げます。その時はパワーちょうだいね。、心結。大好きよ。

星の名前 : HARUHIRO

成長した晴大へ

今日は平成25年、2013年、2月6日、御着保育所の年少組さくら組に通うあなたを、さき程、ゴールドカー（エスティマ）に乗せて送り出してきたところです。園では、お友

達に恵まれて楽しく過ごすあなたを見ると、母は嬉しく思います。昨日は担任矢野先生より、晴君はお昼寝が出来ず、さわいでいたので、きつくしかったです。すると「ママー！ママー!!」と大泣きしてしまいましたと報告を受けました。落ち着きがなくて、するべき行動がすぐ脱線してしまう晴大君は、どんな大人になっているのか、母は心から楽しみに思います。

母は20歳代は旅へのあこがれを持ち、バイクで日本中を一人で、また、海外へも放浪していました。中でも北海道キャンプツーリングには毎年出掛け、いい旅人と出会い刺激を受けました。この星（HIROHARU）をあなたにプレゼントしてくれたのも旅で出会ったライダーの田中佳宏さんです。旅が好きだから、いつか、あなたと、弟の智大と一緒に、初山別村の天文台に行って、この星を見に行きたいと思っています。又、成長した2人と一緒に、日本だけではなく、海外にも旅に行きたいと心から思います。オーバーランドトラックって知っていますか？ 改造されたトラックで国境を越えながら、アフリカ大陸やユーラシア大陸などを旅するトラック。いつか一緒に行きたいです。

母はあなたのことが大好きでとても大切です。この先、あなたにどんなにつらく悲しいことがあったとしても、母はあなたのことを大切に思っていることだけは忘れないで下さい。

誠実で、努力することのできる人間になって欲しいと願います。晴ればれとして、くもりのない大きな人になって下さい。そして、自分自身のことを愛して下さい。母は晴大君に秋晴れの空を絵書いています。いつか、一人で立って歩いていける大人になった君を見たいと思います。

星の名前 : **Brighten Cosmos**

私の夫の名前は宙明（みちあき）さん。2年前、この名前にちなんだ誕生日プレゼントをあげたいなぁと考えていたとき、たまたま、新聞でこのシステムを知り、申し込みました。

英語の苦手な私ですが、辞書を引きながら Brighten Cosmos という名前を考えました。“宇宙を明るくする星”の意味で、下手だけど宙明という名前をアレンジしたつもり…です。

私のことをいつまでも見守ってくれますように…と、自分勝手にも私の星座である乙女座にその星を決めました。そんな私の話をきいてにこにこ笑っていた夫でしたが、昨年8月に乙女座の娘が生まれて、今は“両手に花”ならぬ“両手に乙女座”となり、ますます責任重大(!?)です！

先日、ドラマで天文台を見ました。いつか3人で乙女座を明るくするために頑張っているパパの星を応援しに行きたいなぁと思っています。

こちら情報室

○天文情報（6月～11月）

流星・彗星

●ペルセウス座流星群（7/20～8/20）

夏休み中の恒例であるペルセウス座流星群で、今年の極大は13日03時ころ（13日の未明）と予想されています。今回は13日が伝統的七夕ですから、七夕の夜の流星群ということになります。織姫と彦星が1年ぶりに会えて感激の涙を流すのでしょうか。極大日を中心に10日から15日が多く見られます。

●おうし座流星群（10/15～11/30）

1ヶ月半も見られる流星群ですが、全体的に数は少なめです。ただ、今回は母天体であるエンケ彗星が戻って来る年になり、出現数も多くなるかもしれません。11月上旬は新月前後で月明かりもなく好条件です。時々火球と呼ばれる明るい流星が出ます。

●しし座流星群（11/5～11/25）

大出現から10年以上過ぎすっかり落ち着いた感があります。今年は極大になる18日が満月のため期待薄です。

◎彗星を見よう

●アイソン彗星（2012 S1）

大変細長い軌道を持つ彗星で、11月29日に近日点（太陽に最接近する位置）を通過します。この時彗星が太陽コロナの中を通過するため、猛烈な明るくなるか、蒸発して消滅するかですが、最近では似たような軌道を持つ彗星が現れ、南半球で明るく長い尾を見せていますので、期待できるでしょう。近日点前は明け方の東空で、近日点後は夕方の西空で見えます。

日食・月食・星食

●スピカ食：8月12日の夕方、上弦前の月によるおとめ座スピカの食が、北海道と東北北部を除く各地で見られます。潜入は月の暗い方でパッと消え、明るい方から出てきます。潜入は日没前なので望遠鏡か双眼鏡が必要でしょう。北海道と東北では月の上を通り過ぎます。

惑星

●水星：8月24日は明け方の東空で、7月30日と11月18日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。

●金星：夕方の西空に見え、11月1日に最大離隔、12月7日に最大光度になります。

●火星：明け方の空にありますが、今年は観望に適しません。

●木星：宵の空で明るく輝いていて5月末ころまで見られます。5月25日から31日の夕方、西空の低空で木星と金星、水星の接近が見られます。

- 土星：夕方の空で9月上旬まで見られます。9月中旬に西の低空で金星に近づきます。
- 天王星：10月4日にうお座で衝（地球に最接近）になります（5.7等）。
- 海王星：8月27日にみずがめ座で衝になります（7.8等）。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars 通信」の送付について、登録番号9120までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方、すでに郵送希望のお申し出をいただいている方につきましては、今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたく願います。

天文台のホームページとメールアドレスが変更になりました。新アドレスは下記のとおりです。

~~~~~

#### [編集後記]

今年は太陽の活動が活発な年・・・なのになぜ寒いの。

今年は桜前線に異常ありでしたね。早いところでは3月早々開花し、例年になく早い開花かと思ったら本州でしばらく停滞し、北海道に上陸したのがゴールデンウィーク明けで、連休中の花見は無し。それどころか雪が降る始末でした。そろそろ咲くかと思っていた初山別は5月10日現在、つぼみは固く閉じています。このままでは終点の道東は6月になるかも。

星の世界では去年は数多くの注目すべき天文ショーが多かったのですが、一転、今年は目を引く天文ショーはありません。11月3日に金環-皆既日食という珍しい日食はありますが、アフリカまで行くのはちょっと・・・(^);

11月にアイソン彗星が見られます。太陽に接近し猛烈に明るくなると言われていますが、3月に接近したパンスターズ彗星がいまいちだったので、期待していいものか……。それなりに明るくなりそうなので注目しましょう。

(K)

|           |                                                                                                            |                             |                    |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------|
| 編集・発行     | しょさんべつ天文台                                                                                                  | 〒078-4431                   | 北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7 |
| 天文台ホームページ | URL= <a href="http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/">http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/</a> |                             |                    |
| E-Mail    | 教育委員会                                                                                                      | shkyoiku@saturn.plala.or.jp |                    |
|           | しょさんべつ天文台                                                                                                  | tenmon@aurens.or.jp         |                    |